



岡田

ふるさとの やさしさを
たくわえて 志高く生きる
岡田の子

舞鶴市立岡田小学校

学校だより

10月号

令和6年9月30日

石川・能登を襲った記録的な大雨・土砂崩れにより、震災復興半ばの心労が癒えないこの時期に被災された皆様の生活を考えると心が痛みます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

仲間と取り組む面白さ 学校だからできること

今年はいつにもまして猛暑となり、暑さ指数を気にしながら運動会練習を進めていきました。2学期始まってからの3週間という短期間で、子どもたちは一生懸命練習して当日の演技・競技・応援を行いました。3学年毎の団体競技もリレーもよく作戦が練られていて、大接戦で見ごたえがありました。来賓の方にも「真剣に頑張る子どもたちの姿は、感動します。とても楽しい運動会でした。」と感想をいただきました。児童も教職員も元気が出ます。こうしてたくさんの方に子どもたちの頑張る姿を見ていただくことができたことをとても嬉しく思っています。

運動会を通して学んで（経験して）ほしいと考えていたことの一つに「自分たちはやれると実感すること。岡田っ子59名の中の一人として、みんなと一緒に楽しみ、頑張り、やり切ったと思えること」がありました。取組の様子を見ると、子どもたちは変わっていきました。今年は特に応援です。色別応援は、応援の内容決めも応援練習の進行も全て子どもたちで行います。始めは、小さな応援の声も、練習を重ねていくうちに一人一人が声を張り上げ、色の仲間と一緒に声を合わせるようになっていくようになっていきました。応援リーダーもみんなの団結にやりがいを感じていたと思います。これこそ仲間と取り組む面白さであり、学校だからできることだと感じます。

一人一人、得意も役割も違えけれど、一生懸命走ったり、演技をしたり、一人一役を頑張ったり「笑顔でいきいき自分から」の志が見える運動会となりました。苦手でも投げ出さずやり切ったり、得意を活かして活躍できたりしたことは、次のステップの弾みになります。「自分たちはやれる」と実感できた運動会でした。

「皆で信頼し合い、持てる個性を發揮して」。これは、大リーグロサンゼルスドジャースのロバーツ監督が大リーグプレーオフ進出決定と大谷選手の記録達成を祝って話をされたときの一節です。私はこの言葉に共感しました。今、岡田小学校で大切にしたい思いとつながるものがあります。

互いを大切に、信頼し合い、一人一人が自分のよさに気づき、發揮できる学校づくりを目指して学校教育を進めていきたいと考えます。

後になりましたが、PTA 役員の皆様には早朝からの準備、また、保護者・地域の皆様には朝早くからの熱い声援ありがとうございました。また、運動会後の片付けには、PTA 役員の方だけでなく、保護者の方にもお手伝いいただき大変助かりました。本当にありがとうございました。また、熱中症が心配される中、全員参加で運動会を実施することができましたのも、保護者の皆様の体調管理のおかげだと心から感謝申し上げます。次の目標を立て、子どもたちが笑顔で元気に根気よく頑張る子に育つよう教職員一丸となって頑張ります。どうぞ子どもたちの成長のために、皆様のご支援・ご協力をよろしく願いいたします。



9月26日サツマイモほり（1・2年）と地域インタビュー学習（5年）より

舞鶴市立岡田小学校 校長 森 祐子
教職員一同

HP 順次更新中

okada-maizuru.edumap.jp

QR の読み込み OK



豊かな学びを創り、ともに育つ学校
岡田小学校